

おおたけ ひでひろ
写真家 大竹 英洋さん スライドトーク

ノースウッズの森で ~オオカミと出会う旅~



北アメリカ大陸北部に広がる湖水地方「ノースウッズ」。そこには厳しくも美しい北国の自然が残され、いまでも多くの野生動物たちが暮らしています。この地に15年以上通い続け、福音館書店から6冊の写真絵本、そして昨年、あすなる書房からノンフィクション・旅エッセイ『そして、ぼくは旅に出た。』を出版された写真家の大竹英洋さんに、これまでに出会ってきた野生動物たちとのエピソードを、迫力ある写真や動画を交えて語っていただきます。森に響く、オオカミの呼び声に耳をすましてみませんか？

受賞！！

うめさお
「第7回梅棹忠夫・山と探検文学賞」

民族学者・文化人類学者の梅棹忠夫さんにちなんだこの賞に、2018年3月、「自然写真家、大竹英洋さんの「そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森ノースウッズ」が選ばれました。

平成30年 11月18日 (日)

午後1時~3時

場所：ゆう・ゆうプラザ

(人権文化センター)

4階 第1研修室



大竹 英洋(おおたけ ひでひろ)さん プロフィール

1975年生まれ。写真家。一橋大学社会学部卒業。1999年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに、野生動物や自然と人間との関わりを撮影。国内外の雑誌、新聞、写真絵本として作品を発表。主な写真絵本に『ノースウッズの森で』、『もりはみている』などがある(すべて福音館書店)。2017年3月、「ナショナル ジオグラフィック日本版」ウェブサイトでの連載を書籍化した『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森 ノースウッズ』(あすなる書房)を刊行。



『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森 ノースウッズ』(あすなる書房)



『ノースウッズの森で』(福音館書店)



『もりはみている』(福音館書店)

定員 40名 (保育なし)

申込 10月10日(水) 午前10時から定員に達するまで、にじのとしょかんカウンターまたは電話にて受け付けます

問い合わせ にじのとしょかん
(和泉市立人権文化センター図書室)
和泉市伯太町六丁目1番20号
TEL&FAX 0725-47-1040

